

令和4年度 学校評価 学校関係者評価書

学校園名	三木市立三木東中学校
------	------------

1 学校教育目標

思いやりにあふれ 何事にも主体的に行動できる 生徒の育成

2 本年度の重点目標

- ・ 自他の命や人権を大切にす豊かな心の育成を推進する。
- ・ ICT機器を積極的に活用し「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善と工夫に努める。
- ・ 風通しがよく、明るく元気な職場づくりに努めOJTの充実と学校全体の組織力を高める。
- ・ 学校からの積極的な情報発信等による、学校運営協議会を見据えた教育活動を推進する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の持続的対策とともに新しい学びへの創造を推進する。

3 自己評価結果(達成状況)【 A:達成している B:概ね達成している C:あまり達成していない D:達成していない 】

評価の観点	評価項目(取組内容)	取組(達成)の状況	評価	改善の方策
教育課程 学習指導	・ 授業時数の確保 ・ 基礎学力の定着 ・ 生徒が主体的に学習に取り組むための授業改善	・ 学校行事の効率化と生徒の主体性 ・ ICT(タブレット)を活用した授業改善 ・ 少人数指導、同室複数指導の実施 ・ 教育機器(電子黒板等)の活用 ・ 朝の読書、モジュール学習の実施(読書活動とQubenaの活用) ・ 学習タイムの導入 ・ 「自主学習ノート」の取り組み ・ 3年生の青ペンノートと放課後学習	B	・ 定期的な授業時間数の点検 ・ 少人数授業や同室複数授業を通したきめ細やかな指導の充実 ・ タブレット(チームス・フォームス等)を活用した授業の展開 ・ モジュールではAIドリル(Qubena)を活用した個の学習 「個別最適な学びの充実」 ・ 小中一貫教育での学習ルールや規律の徹底 ・ 学習タイムの充実 ・ 生徒も教師も楽しいと感じる授業の展開 「協働的な学びの充実」
教員の資質向上	・ 教科指導力の向上 ・ 生徒に寄り添った生徒指導と生徒指導体制の推進 ・ 意欲的な研修への参加促進	・ 主体性、協働性、創造力を意識した教育活動 ・ 「主体的・対話的で深い学び」実現の授業力向上 ・ GIGAスクール構築のために教職員のICT活用(タブレットを活用した授業) ・ 講師招聘による職員研修 ・ SC、SSWとケース会議の効果的実施 ・ 教育センター等の研修講座への積極的な参加(オンデマンドの有効活用)	B	・ 授業改善のための情報提供とICT機器の積極的活用(タブレットを活用した授業展開) ・ 講師を招聘した校内研修や専門講座の積極的参加 ・ 生徒に身に付けさせたい力を明確にした教育 ・ 教職員のスキル向上への意識向上 ・ OJTによる若手教師の育成、技術の継承
生徒指導	・ 内面理解に基づく生徒指導 ・ いじめや不登校の早期発見、早期対応 ・ 関係機関との連携	・ 生活アンケート(いじめの早期発見)の実施(5月・10月) ・ 年2回以上のカウンセリングウィーク実施(6月・11月) ・ いじめ防止対策(弁護士出前授業) ・ 生徒指導委員会、不登校委員会の定例開催による情報の共有と具体的改善策の提起 ・ 関係機関(市教育委員会、適応教室、子育て支援課、子ども家庭センター、警察等)との連携 ・ 情報モラル、薬物乱用防止教室の実施(県警サイバー犯罪課、三木警察講師招聘)	A	・ 家庭環境を含む生徒理解の深化 ・ 発達障害、LGBTQIに関する研修の充実 ・ SCやSSWを活用した教育相談の充実 ・ SSWやSCを活用した関係機関とのケース会議の充実 ・ 共通実践のための情報の共有化 ・ 家庭、地域と連携した生徒への支援 ・ 生徒を主体とした校則の見直し

4 自己評価方法の適切さについての学校関係者評価

評価は概ね適正である。
 ・ 生徒のアンケートに学校生活が楽しいと感じる子どもたちが9割近くいることが相対的に学校運営がうまくできている証明でもある。様々な体験が子供たちの成長に大きくつながっているように感じる。過去の卒業生が様々な場所で活躍しているところをたくさん見受けられ、いつも感動する。
 ・ 目標達成に向けて成果が表れている。コロナ禍で学校生活に制限がかかる中ではあるが、教育目標(豊かな心の育成、学び・授業)はおおむね達成されていると感じる。
 ・ 我々保護者も、日々成長する我が子としっかりと向き合い、学校に意見するだけでなく、自分自身も学び成長していくことが大切である。
 評価方法はおおむね適切だと思われるが、すべての項目においてかなり厳しく評価されている。
 ・ 昨年より制限が緩んだとはいえ、まだまだ厳しい状況の中、学校行事をいかに生徒たちが楽しく、また自分たちで考えながらできるよう工夫されていたことがよかった。教職員には並々ならぬ努力があったと思うが、生徒たちも自分たちで考え、楽しく学校生活を送っているように感じる。
 「主体的・対話的で深い学び」において、生徒同士はもちろん、生徒と教師が対話しやすい関係、環境にあるのが前提だと思うので、今後も務めてもらいたい。

5 評価の観点ごとの学校関係者評価

学校自己評価結果及び改善の方策の適切さについての評価
<p>評価は適正である。 ・ 学校内のWiFi環境がようやく整い、少しずつタブレットを利用した授業が行われているが、若干、教員によって使う頻度にばらつきがあるようで、均等に授業ができるように進めてもらいたい。 ・ 学習タイムの導入や青ペンノート、放課後学習などで学びの充実を考え進めてもらっているの、今後の学校全体のレベルアップを期待する。 ・ 少人数授業によるきめ細やかな指導について今後も希望する。 ・ 生徒が主体的に学習に取り組むための授業が工夫されていると思う。 評価が厳しいと思われるが概ね妥当である。 ・ A Iドリルを活用するなど、生徒に興味を持たせる取り組みがなされている点は評価できる。 ・ 朝読書は継続できており、教師の読み聞かせなど新たな方法を取り入れ工夫している点は評価できる。3年生の青ペンノートは今後、他学年でも取り入れてもらいたい。 ・ 生徒と教師の信頼関係を今後も築き、生徒が理解しやすい授業、教師も工夫を楽しめる授業を展開してほしい。</p>
<p>評価は適正である。 ・ 教員と保護者の意思の疎通がうまくできていないため、トラブルになったケースもあるようだが、教員全体が「主体性・協働性・創造性」を意識した運営をしているため、子どもたちは楽しく学校生活を過ごしている。 ・ 年齢的に若い先生が多く、エネルギーが学校内に感じる。 ・ 今後もOJTによる若手教師の育成、技術の継承をお願いしたい。 評価は概ね妥当である。 ・ ICT機器を活用した授業を行っていくことは進んでいると思うが、生徒に寄り添ってという部分では経験でしか培われない部分が多いと思うので、管理職及びベテラン教職員によるOJTを実施し、技術の継承を進めてもらいたい。 ・ 「できることをやる」か「やりたいことをやるか」の二者択一ではなく両立を目指せるよう教師が生徒の手本となり、多くのことを教えていく中で、先生同士がしっかりとコミュニケーションをとり、良い関係を築いてほしい。</p>
<p>評価は適正である。 ・ 学校としていじめ撲滅に向け、小さなことでもすぐに対応し、人権の大切さをしっかり子どもたちに学ばせ、意識を持った取組ができている。 評価は概ね妥当である。 ・ 生活アンケートやカウンセリングの実施により、いじめの早期発見や抑制効果が出ていて評価できる。 ・ 不登校生への対応はされているものの、毎年数名出ているので、今後も引き続き関係機関と連携し、支援してほしい。 ・ 様々なケースがあり大変な中、関係機関と連携しながら、チームで取り組んでいると思われる。生徒が助けてほしいと言える、周りのサポートを受け止められる力をつける手助けをしてほしい。</p>

道徳・人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実 ・人権教育の推進 ・自尊感情や自己有用感の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローテーション道徳の実施 ・授業と評価の一体化 ・人権作文、ポスター制作や人権作文発表会の取組 ・外部講師による人権教育の推進（手話教室など） ・情報モラル教育の推進（兵庫県警察サイバー犯罪課） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・講師招聘による人権教育の充実 ・読み物教材の発掘 ・道徳教育副読本を媒介とした家庭での話合いの継続 ・情報モラル教育の推進 ・体験活動やボランティア活動を通じての所属感、自尊感情の醸成 	<p>評価は適正である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来からの取組を継続して、今後も道徳教育の充実を図ってほしい。 ・外部講師による人権教育や情報モラル教育にも意欲的だと思われる。 <p>評価は概ね妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会となった今、SNS等あらゆるところで人権侵害が起きている現状をもっと保護者とともに考えたり、子どもたちと保護者の意見交換等ができる場が、家庭以外でもあってもいいのではないか。
保健・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策の推進 ・安全教育の充実 ・保健・安全意識の向上 ・防災教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防の環境整備と手洗いや換気などの予防対策徹底 ・交通ルール・マナーの注意喚起・啓発（自転車教室等の開催） ・下校指導、交通立ち番（PTAと連携）の実施 ・薬物乱用防止講演会の実施（三木警察生活安全課から講師招聘） ・学校保健委員会の実施 ・地震、火災避難訓練、1.17追悼集会の実施 ・教職員防犯訓練(11月) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルール、マナーの徹底 ・下校指導、交通立ち番の実施 ・外部講師による専門的な立場からの指導 ・生活に直結する保健安全に関する情報提供 ・災害発生時に対する事前学習と防災訓練の実施 ・AED活用研修 ・教職員の防犯訓練、不審者対応研修 	<p>評価は適正である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学などの交通安全教室や下校指導、コロナ感染対策など、子どもたちの安全で安心な学校生活が送れるよう指導されているため、生徒たちの意識が毎年上がっている。 ・新型コロナウイルス感染予防の環境整備について必要な対応を確実に実施されている。 ・教職員の防犯訓練、不審者対応研修など、できることから地道にやるのが大切である。まずは、「知ること」や「分かること」などの共通意識を持つことから。 <p>評価は概ね妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染防止対策の徹底や交通指導はよくできている。不審者対応や防犯対策は日頃からやっていないと、いざという時に対応できないと思うので、教職員の防犯訓練、不審者対応研修はしっかりやってほしい。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた進路指導 ・キャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路説明会の実施(7月・11月) ・進路相談の充実(二者面談の充実) ・私学合同説明会への参加促進 ・トライやるウィーク発表会の実施 ・キャリア教育のため講師招聘「第一生命」 ・マナー講座の実施「丸富士」 ・ものづくり体験学習(1年生) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・系統的な進路指導計画の見直し ・体験活動と連動したキャリアノート活用促進 ・体験活動の充実。トライやる・ウィーク5日間実施 ・キャリア教育のため企業から講師招聘 ・マナー講座の実施 	<p>評価は適正である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライやる・ウィークは、社会体験させることで、視野を広げるきっかけになった。できる限りの時間を作って実施してほしい。 ・生徒が自分の将来を考える指導・取組を実施している。 <p>評価は概ね妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライやる・ウィークは社会体験をさせてあげることで、少しでも自分の将来の方向性を持たせることができると思うので、できる限りの時間を作ってしてほしい。 ・生徒自身が学習や進路に対する意欲を持てるよう、また不安感を減らしていけるよう、力になってあげてほしい。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する生徒の理解と支援の充実 ・家庭、関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する生徒の共通理解と効果的な支援のための研修の実施 ・個別の支援計画の作成 ・関係機関との連携の推進 ・特別支援教育指導補助員の配置 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する生徒の共通理解と個別授業 ・個人カルテの作成 ・特別支援教育に係る専門性の向上研修 ・特別支援教育指導補助員と連携した支援 	<p>評価は適正である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒が増える中、個々に応じた別室授業を実施し、管理職、授業の空いている教員が交代で入り、生徒に応じた対応ができている。今後の課題として、教員の人員不足や専門性の伝承が挙げられる。 <p>評価は概ね妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする生徒に対する支援は、該当する生徒の人数が増えればその分人材・もの・予算が必要であるが、行政とも連携を取り、PTAとも連携を取りながらやってほしい。 ・社会と適切につながり、関係を持ちながら生きていく自立のサポートに努めている。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部と管理職の意見交換会の開催 ・学級経営の充実 ・学校行事の充実 ・生徒会活動の活性化 ・部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動の活性化 ・生徒会を中心とした生徒主体の学校行事の充実 ・生徒会委員会活動の充実（校長と年2回以上の座談会実施） ・ノー部活デー実施によるメリハリある部活動運営 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自主、協働、創造の力を意識した行事運営 ・生徒会による学校づくりへの主体的な取組 ・生徒会を中心とした生徒主体の行事運営 ・学校行事を通じた達成感の醸成 ・主体的に練習に参加しようとする部活動運営 ・自己肯定感、自尊感情を意識した部活動運営 	<p>評価は適正である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体で学校行事の内容を考え、運営もすべて生徒たちが行い、個々の主体性を重視した学校教育ができています。そのため、学校の雰囲気がとても良い感じに運営できている。 ・部活動については、多くの教職員が熱心に指導に当たってもらっていることに感謝します。 ・生徒が行事等で、企画段階から携わることにより、人と人が協力して行事が作り上げられている。 ・主体的に考え動くことで、生徒に充実感を味わってもらいたいとの思いから、先生方の様々な工夫が見受けられる。 <p>かなり評価が厳しく、A評価が妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事は教職員の指導の下、生徒会が中心となって、生徒たちが自主的に考えて行える行事になっており、このコロナ禍で制限のある中、みんなが楽しめる素晴らしい行事が行えたと感じた。また、部活動では、生徒数減少により部の存続も危ぶまれる状況と指導の在り方を問われている時代ではあるが、生徒たちが勉強以外でも頑張れる環境づくりをお願いします。
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備の充実 ・美化活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化設備や損傷箇所の修繕 ・PTA予算による備品等の購入 ・PTA環境整備部による花壇整備 ・教師と生徒が同行の清掃活動 ・生徒会活動による施設整備(美化コンクール等) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委と連携した施設設備への対応（老朽化設備や損傷箇所の迅速な修繕） ・生徒の美化活動やボランティア活動の推進 ・PTAとの連携充実 	<p>評価は適正である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校とPTAがしっかり連携が取れており、必要なものを検討し、市や県の予算で購入できないものをPTAで購入し、子どもたちの学校生活を守っている。 ・校舎の老朽化が30年以上経過し、損傷箇所も出てくる中、PTAと連携し、状況に応じた環境整備に取り組んでいる。 ・市教委と連携した施設設備への対応を今後も継続してほしい。 <p>評価は概ね妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も業者による除草作業まではできたが、3年連続で愛校作業が中止になっているので、来年度は実施し、生徒たちにも愛校精神を養わせてください。
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくり ・保護者、地域との連携による生徒の健全育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの積極的更新による情報発信 ・学級、学年、学校通信の発行 ・オープンスクールの充実（オープンスクールウィーク年2週間） ・地域行事への積極的参加 ・地域への積極的交流 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信を推進(HP、すぐーる、各種通信) ・地域、家庭からの情報収集 ・オープンスクールや学校行事の開催方法 ・ふれっぴーみき、中央公民館行事への生徒の参加（たなばた祭り、お月見会など） ・三木南交流センターでの定期演奏会開催 ・地域老人会への積極的交流(9月敬老の日) 	<p>評価は適正である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会中心に地域行事に参加し、積極的に活動できていると感じる。少しでも多くの生徒たちが、地域行事に参加し、地元の活性化に期待したい。 ・感染対策で制限がある中で、体育祭、文化祭、オープンスクールウィークなど、参加しやすいように工夫されている。 ・地域への積極的な交流も生徒の成長につながっていると思われる。 <p>評価は概ね妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は各行事において、保護者の方々に少しずつ学校の様子が見える機会が増えてきたのはよかった。 ・地域の方々にはまだまだ開放できない状況なので、中央公民館行事の「ふれっぴーみき」を地域交流の場として積極的に活用してもらい、生徒たちと地域の方々とのつながりを大切にしていきたい。 ・今後実施される部活動の地域移行も考えると、学校と地域の連携、生徒や教師の地域への交流はさらに大切である。